

趙光 文名行書対聯

亀甲吉祥散墨蠟箋

一三〇・五×二八・五cm 制作年不詳



〈釈文〉文名遠播如長慶 書窟精求得永和 退菴趙光

趙光 (ちょうこう) 嘉慶二年 (1797) 同治四年 (1865)、字を蓉舫、退庵と号した。雲南昆明の人。
嘉慶二十五年 (1820) の進士。官は刑部尚書 (法務大臣) に及んだ。詩文に工みで、書法は
董其昌を学んだ。海内に有名で、文恪と謚された。
この作品は、風格のある行書で、文辞は科挙の及第者への祝辞であろうか、将来を嘱望される
者に宛てた如くである。薄墨色の地色に、亀甲紋をずらした地模様と、竹葉と梅花を散らした
伝統的な紋様の上品な蠟箋である。



昆明趙光
(朱) 2.3×2.2



大司冠章
(白) 2.3×2.2